

杉村陽太郎 すぎむら びやうたろう 外交官。明治十七年九月、二十八日東京生れ、昭和十四年二月、二十四日歿（八六四一九三九）。明治四十一年東京帝國大學法科大學政治學科卒。學生時代講道館柔道家として鳴らし、二十八年は大阪灣十哩遠泳に優勝した偉丈夫。外務省に入り、大正十五年國際聯盟帝國事務局長、翌年國際聯盟事務局長。八年I.O.C委員となりオリンピック東京招致に盡力した。その後駐イタリヤ、駐フランス大使を歴任。

譯著に、ポール・ピツク著『勞働爭議』（大正九年七月十五頁岩波書店）、『軍國主義打破』（大正十年六月）二十回日國際聯盟協會「軍備縮小問題資料」、『祖國に歸りて』（昭和八年十月一日大日本雄辯會講談社『雄辯』第二十四卷第十號附録）等。三井甲之著『杉村陽太郎』『國際外交録』批判』（昭和八年九月八日回天時報社）がある。

